

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	政策研究大学院大学
タ イ プ	A-I
構 想 名	北東アジア地域における政策研究コンソーシアム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">B	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
(コメント) <p style="margin-top: 20px;">本プログラムは、政府あるいは企業において中核的役割を担うことを期待されているミッドキャリア職員を中心とした学生を精選し、課題解決型の社会科学横断的な大学院教育を行い、日本・中国・韓国を中心とした中核的人材同士の人的ネットワークの形成を目的としている。</p> <p>ミッドキャリア職員が対象のプログラムとして、在籍中の時間的余裕が少ない学生が参加しやすいよう、サマープログラムや短期研修、特別セミナー等を開催し、学生の実情を考慮した工夫がなされている。</p> <p>一方で、ミッドキャリア職員を中心とした学生が多数在籍しているという政策研究大学院大学の状況に鑑みると、ダブル・ディグリー制度や長期派遣を盛り込んだ本プログラムの構想自体の困難さは申請時から想定できるものであり、その点について当初から検討を重ね、実現可能な計画としていくべきであったと思われる。当初計画に対する進捗という観点からは、やや厳しく評価せざるを得ない。</p> <p>ダブル・ディグリー制度による交換留学生の受入・派遣について、数値目標達成のための方を再度十分に検討し、一層の改善と努力により本プログラムの事業目的を当初計画どおり達成することが望まれる。</p>	